

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年1月17日		～ 2026年2月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月12日		～ 2025年12月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援内容を記録し、保護者の方と訪問先とで共有できるようにしている。	・訪問時の対象児の様子やカンファレンスで話をした内容(行動の意味付けや今後の取り組みなど)を文章にしている。保護者の方に記録を渡すことで、家族間でも共有しやすい。 ・訪問先にも記録を渡すことで、伝えたいことを正確に届けることや見返すことができる。また、3者が共通理解できるようにしている。	・引き続き、丁寧に分かりやすく文章にし、保護者、訪問先と共有できるようにし、子どもの集団生活の充実に努める。 ・子どもの発達や特性を理解し、適切な支援につなげていけるよう職員の専門性を高める。
2	・療育経験が多い支援員を配置し、2名体制で実施しています。複数の視点で子どもの観察ができたり、話し合いができています。	・訪問前に担当施設の職員同士で検討表の内容や支援内容について共有し、訪問後は、振り返りを行ない意見を出し合っており、よりよい支援につなげるようにしている。	・職員の専門性を高めていけるよう、研修などに積極的に参加していく。 ・今年度は同じ職員が3施設の訪問支援を実施していたため、訪問支援員同士で支援内容について他の職員と共有することがなかったが、今後は、職員間で会議を充実させ、保育現場の共有や支援内容、課題などについて共有できるようにする。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との面談の機会が少ない。	・契約時と年度末に子どもの状況についての共有や保護者の困りごとや悩みごとについて話をしているが、定期的には行えていない。 ・訪問後に訪問支援内容の記録を行ない、保護者の方と共有しているが報告のみになってる。 ・担当職員が相談支援事業と兼任をしているため、時間の調整が難しい。	・契約時に悩みや困りごとがあるときには、面談の時間を設けることを保護者に周知する。 ・年度の途中で面談の機会を設けるようにする。
2	・訪問支援の日程調整が難しい。また、訪問回数が少ない。	・担当職員が相談支援事業と兼任をしているため、訪問日が限られる。また、訪問先の行事や職員体制などで調整が難しい。	・職員体制の充実に努める。 ・訪問先の負担にならないように、観察とカンファレンスの時間を柔軟に調整していく。
3			